

目次
はじめに
軸・骨・筋肉
意識する理由
出来栄を意識
『常に』を意識
ニュアンスは崩れやすい

はじめに

お疲れ様です。5zk(エスエスケー)でございます。

俺だけ何も貢献できてないなあとつくづく思ひましてね。でも俺といえばYouTubeやらインスタのリアル動画やらがある、でも振付師とかの経験もないから物足りなさしかないみたいな状態でして。

そんなときに思ったわけです。卒論研究の内容、少しくらいなら書いても良いんじゃない？って。

卒論の研究のテーマが「**即興ダンスのアルゴリズム生成と間合いの探求**」なんすけど、ある程度内容がまとまってきたんで今一度書いてみようと思ひまして。

タイトルでは「アニメーションダンス」と書いてるんすけど、ストリートダンス全般に通じる内容になってるので共有しようという次第でございます。

なお文章だけの内容でございます。読むのが苦痛かもしれんすけど、そこは頑張って頂いて。とりあえず始めます。

『軸・骨・筋肉』を意識する

まずは自分のダンスのスタイル(決まってない人は目標としてのモデルでも可)を**軸・骨・筋肉**という3つの要素に分解します。

軸ってのは**重心や全体のバランス**、骨は**全体構造そのもの**、筋肉は**その瞬間のアドリブ**が該当します。

なのでまずはこの3つの要素を意識して、ダンスの動きを分解してみてほしいんすね。

この3つの要素を意識する理由

ストリートダンス、その中でもアニメーションというジャンルでは上記3つの概念を色々使ひまして、「**自由に切り分けて調整しながら理想の形に持っていく**」というのが理想の目標になります

例として挙げられる分け方としては腕が1番分かりやすくて、腕の位置(**骨**)とその時々には1番重く感じる部分(**軸**)、どこを力を抜いている？(**筋肉**)みたいな感じで分けて考えられるようになるんすね。

この時の特異な例として上げやすいのがキョンシーの腕なんすけど、あれって手首から先だけが脱力になってるとかいう構造で考えると意味分からんものじゃないすか。

でも今回は全部分けて考えてるので、それぞれどんくらの割合にすりゃいいんか？っていうので考えると何となく分かるかと思ひます。

例えばキョンシーの腕をやるときは、**軸**で肩から手首までの間で重心を置いて、**骨**で手首から先を脱力させて、**筋肉**でも手首から先だけを使うみたいな感じでさ。

こういう風に分けて考えることで、「**どこに重心を置くか**」「**どこを脱力するか**」「**どこに力を入れるか**」**というのを明確に区別できるようになる**んで、「流れるにこう動かすのは重要なのかー」みたいな感じでダンスの動きを判断できるようになるんすね。

『全体としての出来栄』を意識する

これはアニメーションだけじゃなく他のジャンルでも言えることなんです
が、上記のポイントのどれか一つでも狂ってしまうと「**全体としてみたときの出来栄が満足できない&なんか違う**」という結果に繋がりがかねないんすね。

5zkとして活動するときにも「全体として見たときの満足度」を考えて行動することが多いんすけど、ダンサーとして上手くなりたいならば是非とも**逐一全体としての出来栄を考えながら踊ってみる**ということをお勧めしたい。

これを意識し始めると、思った以上に「間合い」を意識せなあかんことに気づくと思ひます。そんでこれを習得するにはアホほど時間がかかるってことも同時に理解せざるを得なくなるはずすww

是非たっぷり苦しんでください。そして楽しんでくださいませ。だんだん面白さに気づいてくると思ひますんで。

『常に』を意識する

そももってアニメーションダンスをやる上で必要不可欠なことがあります。**『常に』**を意識することです。

このジャンルの特性上なのか、途中停止や逆再生といった動きをするのが結構普通にあるので、常日頃を意識する必要が強制的に出てくるんすよね。

んでこれやっていると「**曲的にこうなりそうやなあ**」みたいなことへの表現の幅が圧倒的に増えるってことになってきますし、曲に対する遊び方も分かってきます。まあ日常の動作の中で「これ使えそうやなあ」みたいにして導入なんてこともできるんでね。

日常系の話で繋がれることがもう一つありまして。慣れてくると**慣性とかも全部自分のものに**できるようになってくるんすね。「この動作の起爆剤としてヒットを使うんだけど、そのあとを慣性で流れるようにしよう！」みたいな感じで。そこまでいけるようになるともう**ゴールに近いかなー**とは思ひうすね。

ちなみに本当に上手になりたいなら一回**狂うほど行くしかない**ってのは言えるんすよね。間違いなく。周囲が気持ち悪がるくらいには狂う方が良い、というか狂ってないと突き抜けられない。

本当に常に考えているような状態じゃないとやっていけないんでね。ここだけはただただ好きとかそういう根性というか執念というかで頑張っしてほしいところす。

あとは一、がんばれば。時間かかるけどその分えげつないものがついてくるからね。

ニュアンスは崩れやすい

即興でやるとき用のも作っておかんとこれの意味ないかもと思ったので作っておきますわ。

最初から極意を言うておきます。「とりあえずできるもの」を3つ作っと思ってくださいませ。それもジャンル問わずで。

自分のジャンル以外でも遊べるようなものをとりあえず3個くらい作っという方が良いと思ひます。遊びやすいでしょ、単純に。

そしてこのときにニュアンスとかも意識できると嬉しいんだけど、俺の経験上ほぼほぼ無理です。しかもこれ、最初のうちはとかのレベルじゃない。曲に依存するからっていう理由なんだけどさ。

なので**色んな曲を聞くことで自分が欲しいニュアンスを見つけ**るという方向性にしてください。こっちの方が圧倒的に曲の流れを見つけやすいし汲み取りやすいです。

つまりは**練習の時から本番用で練習する癖を付け**とけてことなんです。

ここまで説明されないと分からんからみんな本気ではやらないんだけど、ダンスを慣れてくるとこういう目線になってくるんでやるようになるっていうことなんです。俺がそうだったんでね。

ニュアンスが見つけれないとテンポと振り付けに沿わせてるだけになってしまふんで、振付師からの呼び出しやら「なんで真面目にやらないの!」とか言われることになるんすけど。

なのでニュアンスを見つける為にも**振付師の言うことをちゃんと**聞っけてことを徹底した方が良いです。その意味で言うて俺は遅すぎたのでね。さすがに2年じゃ無理だった。振付師からの**これをしてください!**っていう指示に100%の自信を持って従うっていうことができなかったし。

そこで経験則から少なくとも3年くらいは一緒にやっとかんとできないもんなんだなあって思っただんでね。その意味では皆様はもう勝ち組なのかも。あとは本気でダンスに向き合えるかによります。是非とも頑張って頂きたいです、はい。